



おおさわ としひこ
大澤 敏彦 議員

会 派：自由民主党
選挙区：平川市

農業 🍏

Q

新規就農者の確保・育成

新規就農者の確保・育成に向けて、県はどのように取り組んでいくのか伺う。

A 宮下知事

農業法人での就業体験と生活環境の視察を組み合わせたオーダーメイド型のモニターツアーを、首都圏在住者などを対象に今年度初めて企画しており、参加者からの感想等を情報発信戦略に生かしていく。

下北圏域における農業経営士による新規就農のサポート事例のように、インキュベーション機能を地域ぐるみで構築する取組を後押ししながら、新規就農者の確保・育成を図っていきたくと考えている。

農業 🍏

Q

りんごの高密度植わい化栽培の推進

本県における高密度植わい化栽培の推進について、知事の考えを伺う。

A 宮下知事

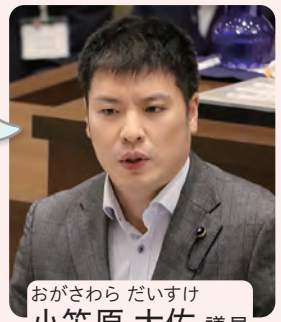
高密度植わい化栽培は、樹形がコンパクトで作業性が高く、スマート農業技術の開発と併せて、更なる省力化が図られる可能性を秘めている。

さらに、高度な剪定技術が必要としないことや、定植2年目から収穫が見込めるなど、新規参入者も取り組みやすく、担い手確保の面でも有効な技術である。
今後策定する所得向上プログラムの中でも有望な技術と位置づけ、関係団体・市町村とも連携して導入を推進していく。

用語解説

高密度植わい化栽培

わい性台木を利用してコンパクトに仕立てた樹を、支柱等で支えながら、10アール当たり250本以上となるよう密植するもの。単位面積あたりの収量増や早期収穫が見込めるほか、整列するため作業性が良い。



おがさわら だいすけ
小笠原 大佑 議員

会 派：新政未来
選挙区：青森市

LGBTQ 👤

Q

性的マイノリティへの理解促進

性的マイノリティに関する県の主な取組について伺う。

A 環境生活部長

県では、第5次おおもり男女共同参画プランにおける施策として、性の多様なあり方に対する理解の促進に取り組んでいる。

具体的な取組として、県のラジオ広報や広報紙等による普及啓発、行政職員に対する研修会のほか、今年度はパンフレットを作成・配布予定である。

さらに、「青森県パートナーシップ宣誓制度」を令和4年2月に東北の県として初めて創設し、本年6月末までに5組の方々が宣誓している。

動物愛護 🐾

Q

不適切な多頭飼育防止対策

犬や猫等の不適切な多頭飼育問題に対する県の取組について伺う。

A 健康福祉部長

県では、青森県動物愛護センターを拠点として、不適切な多頭飼育を防止するため、飼い主等へ屋内飼育や不妊去勢手術を呼びかけている。

また、多頭飼育に関する相談や苦情を受けた場合、市町村の関係部局や動物愛護団体等と連携し、飼育状況の実態を調査し、適切な飼い方や飼育する動物を適正な頭数とすることを指導助言するなど、不適切な多頭飼育による問題の発生防止と改善に向けて取り組んでいる。

用語解説

多頭飼育問題

多数の動物を飼育している飼い主が、適切な飼育管理ができないことにより、飼い主自身の生活状況の悪化、動物の状態の悪化及び周辺の生活環境の悪化などの影響が生じている状況のこと。